

令和3年度の学校評価（重点目標）

令和3年度の重点目標		将来、テクノロジストとなりイノベーションを起こす人材を育成するために ～日本一の工業科高校を目指して～ 1 進学・就職の両立ができる愛知総合工科高校づくり 2 生徒に寄り添う愛知総合工科高校づくり	
担当	担当の重点目標	具体的方策	留意事項
1 総務部	ア 業務の見直し及び円滑化 イ P T A活動の理解促進及び情報発信強化	<ul style="list-style-type: none"> ・主担当がやることリストを作成し、部員全体で取り組める体制を整える。 ・行事等を利用し、保護者と教員の接する機会を増やすとともに、P T Aだよりやきずなネット、ホームページ等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部員全員が業務の全体像を把握できるように努める。 ・執行部が計画を立て、各部会が主体となり理解の促進や情報発信に努める。
2 教務部	ア 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導体制の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の3要素に基づいた評価方法を確立し、アクティブラーニングの実践により、知識・技能（技術）の定着を図る。 ・スタディサプリを活用した課題配信など、家庭学習機会の充実を図り、基礎学力醸成の一助とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを作成し、教科横断的な連携を意識したカリキュラムマネジメントに取り組む。 ・教科、学科、学年、各分掌と連携して、全職員が一丸となって生徒の学力向上に取り組む。
3 生徒指導部	ア 基本的生活習慣の確立 イ 規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行と遅刻の減少を目的に、登下校指導時の声かけや個別指導を行う。 ・身だしなみ指導や集会時の講話などいろいろな場面で啓発し、自らを律し望ましい集団生活が送れる態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科、学年と連携し、全職員で取り組む。 ・望ましい集団生活を通して、自他の命の大切さを再認識させる。自ら進んでモラルやマナー、ルールを守る態度の育成を目指す。
4 生徒会部	ア 地域貢献を視野に入れた学校行事、生徒会執行部、部活動運営を行う。 イ 目標達成能力を高めるための部活動運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部、議員、部活動に対して実施可能な地域貢献を検討する機会を設ける。 ・部長会、部顧問会を開催し、今年度の目標を考えさせ、校内に掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染を徹底させ、現在できることを検討する。 ・PDCA サイクルを実行し、物事の進め方の基礎を学べるようにする。
5 保健部	ア 自発的な環境美化意識の育成 ・ 日常の清掃活動の充実 イ 健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃道具の充実を図るとともに安全点検を定期的実施する。 ・生徒美化委員会活動を充実させる。 ・個別指導を通して、自己の健康に関心をもたせ、自己管理能力の向上を図る。 ・生徒による保健委員会の活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各清掃区域の実態に即した清掃道具の確保に努力する。 ・生徒の奉仕活動の定着を図る。 ・体調の自己管理表を活用し、新型コロナウイルス感染症や熱中症の予防と健康管理に努める。 ・「保健だより」や掲示物を通じて情報を発信する。 ・広報活動と安全点検を実施し、学校の安全と衛生に努める。

6 図書部	<p>ア 学習情報センターとしての学校図書館の構築</p> <p>イ 活発な図書委員会活動の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の展開に寄与する図書館メディアの選定を行う。 ・各教科の教育課程の展開において、適切に図書館利用を組み込む。 ・定期的に発行する図書館だよりの作成や、図書館祭りの準備及び開催をよりレベルの高いものにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の授業で使用できる図書館メディアを選定する。 ・各教科の学校図書館活用計画を作成し、連携して実践する。 ・図書館だよりの作成においては、単なる本の紹介に終始しない。 ・図書館祭りにおいては、ビブリオバトルの参加者を増やす。
7 進路指導部	<p>ア 企業の一次内定率や公務員の合格率の向上を目指す</p> <p>イ 企業内学園等（専攻科含む）合格70人を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育活動等の充実「夢・志クエスト」を出発点とし、キャリア教育の充実を図る。 ・T&E サポーター企業と連携したキャリア教育活動を月1回程度行う。 ・学習意欲をより喚起し、進路意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて面談を実施し、将来を見据えた進路計画を意識させる。 ・自分の可能性だけでなく、工業人としての在り方についてキャリア教育活動を通して育成する。
8 進学部	<p>ア 3年後を見据えた計画的な進路指導の実現</p> <p>イ 国公立大学合格25人の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した進路指導を行えるよう進路LTや学年の進路行事を計画的に行う。 ・進路検討会を通して、学年と学科間の連携を深め、生徒の進路実現に関する業務を円滑に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年を通して一貫した情報を提供できるようにする。 ・生徒一人一人に沿った指導を心掛ける。
9 工務部	<p>ア 工業に関する興味・関心を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資格・検定試験の冊子をもとに生徒の資格・検定試験の取得に関心をもたせる。 ・インターンシップやクラフトマンなどの校外学習を積極的に促し、体験的かつ実践的な取組ができるようにする。 ・課題研究発表会や研究集録の作成を通して工業科の取組を広く伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科、関係分掌との連携をもとに、きめ細かな情報発信に努める。 ・職員の協力をもとに課題研究発表会をより充実したものとなるように工夫する。
10 広報部	<p>ア 学校の活動実績や自律性を、広く社会に示す</p> <p>イ 自ら学び、考え行動し続ける力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、連絡、提供、交流などの情報公開機能を速報性・貯蓄性を意識してホームページで公開する。 ・フォーサイト手帳を用いて、生活習慣を整え、先を見通す力の育成を目指す。 ・企業連携・大学連携により、探究学習できるシステムの構築を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EdTechによる教育のICT化を促進し、学校・社会を結ぶ教育現場の見える化を実現する。
11 1年生	<p>ア 基本的な生活習慣の確立</p> <p>イ 学力の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・遅刻・早退の状況を把握し、日々の声掛けから生徒の基本的な生活習慣の確立を目指す。 ・定期考査や基礎学力テストの結果を活用し、生徒に学習に関する指導、助言を行い、学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身による健康管理や、時間への意識が高まるように指導する。 ・保護者との連携を図り、連絡を密に取るよう努力する。 ・定期考査の重要性や考査への事前対策などの意識をもたせる。

12 2 年 生	<p>ア 基本的な生活習慣の確立</p> <p>イ 学力の定着</p> <p>ウ 卒業後の進路実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年集会で基本的な生活習慣確立の必要性について説明し、生徒に意識付けを行う。 ・定期考査や模試、到達度テストの結果を活用し、面接週間の際に、生徒に学習に関する指導・助言を行い、学力の定着を図る。 ・進路実現を意識させるために進路指導部と連携しながら、HRの時間を活用して受験準備をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の健康管理や時間への意識が高まるように指導する。 ・定期考査の重要性や考査への事前対策などの意識をもたせる。 ・本人、保護者、担任がチームとなり、進路を実現していく体制を整える。
13 3 年 生	<p>ア 夢や目標に向かう主体性ある行動の定着</p> <p>イ キャリア教育の結実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や約束を大切にすることで、信頼関係の構築を図る。 ・挨拶や返事の励行、家庭学習の定着を図る。 ・就職希望者の一次合格率を上げることや、進学希望者の国公立合格者数を増やすために、進路指導を充実させて生徒に入念な準備をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての自覚や責任をもたせ、他の模範となる行動をとれるように導く。 ・それぞれの進路目標を具体化させ、綿密な計画を立て、進路実現に向かって邁進させる。
14 理 工 科	<p>ア 学びの探求（1）</p> <p>イ 進路実現の探究（1）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県高等学校職業教育技術顕彰制度、3ポイント以上を全員取得する。 ・インターンシップ、ボランティア、コンテストなどの学校外活動に全員1回以上参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて学習会などを実施してサポートする。 ・2年次からは自ら計画を立案する。 ・生徒の適性に合わせて、参加を促す。 ・アフターフォローを充実させ、次のステップ（発表など）に導く。
15 機 械 系 学 科	<p>ア 考える力、発信する力の向上</p> <p>イ 社会人基礎力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や実習でのスピーチ・グループ活動を通じて、考える力と発信する力を高める。 ・実習の振り返りを実施し、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞く」、「知る」だけでなく「考える」、「発信する」を意識できるように指導する。 ・進度に合わせて振り返りの時間をつくり、キャリア形成に必要な力を身に付けさせる。
16 電 気 系 学 科	<p>ア 学習指導の充実</p> <p>イ 進路指導の充実</p> <p>ウ 生活指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎、基本的な知識と技術の習得を図る指導の充実を図る。 ・実習、課題研究で自分の成果を発表させる場を設定する。 ・キャリア教育活動に参加させ、実践的な知識や技術を学ばせ、個々の生徒が目指す進路について調べさせる。 ・人と社会との間で自分をコントロールできる人間の育成を図る。 ・自分らしい生き方や成功を求められる人間の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の能力を把握し、個々の生徒の能力に合わせた指導を行う。 ・適切な時期に情報提供し、個別相談も含めて指導する。 ・人間力の育成を目指し、教員が生徒に前向きな姿勢で指導に当たる。
17 建 設 科	<p>ア 工業教育の強化 ・資格取得への支援</p> <p>・魅力ある学科づくり</p> <p>イ 進路指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の指導を徹底し、資格取得の効果的な指導に繋げることで、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図る。 ・企業、大学と連携し、実践的な知識、技術を学ぶ機会を設けるなど、建設業界についての興味、関心を高める。 ・工業の特色を生かした大学進学、技術職公務員や企業（技術職）への就職を支援する進路指導体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や関係分掌、部活動との連携を図り、生徒の進路希望に応じた指導を心掛ける。 ・あいちT&Eサポーター企業や近隣大学と連携した教育活動に努める。 ・学科職員が一丸となり、情報共有を密にしながら生徒に寄り添った指導を徹底する。

18 応用化学科	ア 自ら学習に取り組む、前向きな力の育成	<ul style="list-style-type: none"> • 日々の授業、実習を通して、生徒個々が学習の楽しさを知り、自ら学習に取り組むような好奇心を抱く授業展開を行う。 • 実習、課題研究では生徒自らが前向きに挑戦できるように、教員がアドバイスを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • ICT 機器を積極的に利用すると共に、個人情報への漏洩には十分注意を行う。
19 デザイン工学科	ア デザインの魅力を伝える イ 進路指導の充実 ウ 地域、企業、大学との連携	<ul style="list-style-type: none"> • 授業を通してデザイン業界や大学の特色などの情報を提供しつつ、デザインの魅力を伝える。 • 進路面談を充実させ、多様な進路に対応した補習を実施するなど、進路実現に取り組む。 • 地域、企業、大学と連携し、制作活動をするとともに、生徒の活動成果を積極的にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 就職する業種に必要な能力や条件等を周知し、進路実現に向け有意義な学習をさせる。 • 教員が連携し、入試対策としての実技指導を計画的、継続的に行う。 • 社会と連携し、より実践的な活動を展開する。